

第153回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年12月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,859	-2.53	-0.38	4,042	-1.36	-0.29
東部地区	14,351	0.37	0.11	5,622	1.35	0.07
西部地区	10,860	0.70	0.13	4,014	1.33	0.12
駅南地区	6,417	-0.12	0.14	2,683	1.66	0.26
半田地区	3,615	1.83	0.16	1,338	3.40	0.14
横山地区	5,681	-0.08	0.01	1,847	-0.21	-0.16
茨目・田尻地区	6,959	0.85	0.25	2,320	0.95	0.47
荒浜地区	5,181	-1.38	-0.30	2,008	-0.54	-0.09
その他地区	21,240	-1.64	-0.10	7,167	-0.31	-0.13
西山町地区	6,409	-1.62	0.01	2,144	-0.27	0.14
高柳町地区	1,987	-3.49	-0.15	841	-1.17	-0.11
柏崎市計	92,559	-0.66	-0.01	34,026	0.37	0.01
刈羽村	4,944	-0.74	-0.22	1,540	1.31	-0.06
小国地区（長岡市）	6,520	-1.30	-0.39	2,158	0.41	-0.13
出雲崎町	5,299	-1.37	0.18	1,827	-0.21	0.05
合計	109,322	-0.74	-0.03	39,551	0.38	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で622人、0.66％、刈羽村で37人、0.74％、小国地区（長岡市）で86人、1.30％、出雲崎町で74人、1.37％とそれぞれ減少し、全体では819人、0.74％の減少となった。

また、前月比においては、出雲崎町で10人、0.18％と増加したものの、柏崎市で14人、0.01％、刈羽村で11人、0.22％、小国地区で26人、0.39％と減少したことから、全体では41人、0.03％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で4世帯、0.21％と減少したが、柏崎市で128世帯、0.37％、刈羽村で20世帯、1.31％、小国地区で9世帯、0.41％と増加した結果、全体では153世帯、0.38％の増加となった。

また、前月比においては、刈羽村で1世帯、0.06％、小国地区で3世帯、0.13％と減少したものの、柏崎市で4世帯、0.01％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加したことから、全体では1世帯、0.00％と僅かに増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	915		-29.66		-0.65	
月間有効求職者	1,152		23.47		10.34	
月間有効求人倍率	0.79	0.60	-0.60*	-0.38*	-0.09*	-0.07*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が915人と前年同月比で386人、29.66％の大幅な減少、前月比でも6人、0.65％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,152人と前年同月比で219人、23.47％の大幅な増加、前月比でも108人、10.34％の大幅な増加となった。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.79倍と前年同月比で0.60ポイント下回り、前月比でも0.09ポイント下回っている。なお、県平均0.60倍に対しては0.19ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が330人と前年同月比で140人、29.79％の大幅な減少となり、月間新規求職者数は405人と前年同月比で229人、130.11％と3桁台の増加率となった結果、月間新規求人倍率は0.81倍となり、前年同月の2.67倍に対しては1.86ポイントと大幅に下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年12月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	46	-20	-5	748	327
共 同 住 宅	1	0	1	5	-6
事 務 所	1	0	1	8	0
作 業 所 ・ 工 場	1	1	0	17	-2
営 業 建 物	0	-2	0	26	7
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	9	-2	3	102	12
合 計	58	-23	0	907	338

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が58件と前年同月比で23件の減少、前月とは同件数となっている。工種別内訳での主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で20件の大幅な減少、前月比でも5件の減少となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が33件、増築が19件、改築が6件となっている。また、一般住宅（併用）46件における市内・市外施工業者別の確認申請については、市内施工業者が27件（うち新築12件、増築13件、改築2件）、市外施工業者が19件（うち新築12件、増築4件、改築3件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,894	0.62	-0.20	22,426	10.78	18.00
電 力	11,556	-3.00	0.96	40,055	-13.56	-1.59

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で408口、0.62%の増加となったものの、前月比では134口、0.20%と減少している。一方、電力では前年同月比で358口、3.00%と減少したが、前月比では110口、0.96%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で2,183kwh、10.78%の増加、前月比でも3,421kwh、18.00%と大幅に増加している。一方、電力においては前年同月比で6,288kwh、13.56%の大幅な減少、前月比でも649kwh、1.59%と減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,416,654	-2.87	30.62	672,004	-1.73	-5.27
営 業 用	241,598	-8.64	30.26	118,355	-6.77	-5.67
工 場 用	642,780	-1.60	0.30	125,107	-7.45	-6.45
官 公 学 校 用	488,183	-12.64	31.61	76,305	-4.09	-2.59
そ の 他				41	-33.87	-67.96
合 計	2,789,215	-4.97	22.23	991,812	-3.30	-5.27

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で146,013m³、4.97%の減少となったものの、前月比では507,459m³、22.23%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で減少しているが、前月比では全ての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で33,861m³、3.30%の減少、前月比でも55,252m³、5.27%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比ともに全ての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	86,551	7.09	-8.41	90,288	6.09	-8.94
西 山	54,921	14.63	-16.98	50,853	18.43	-15.39
米 山	22,379	7.39	-20.53	21,915	12.77	-21.12
合 計	163,851	9.55	-13.22	163,056	10.56	-12.82

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口において全体では前年同月比で14,286台、9.55%の増加となったものの、前月比では24,968台、13.22%と大幅に減少している。

一方、出口においても全体では前年同月比で15,583台、10.56%の増加、前月比では23,994台、12.82%と大幅な減少となっている。

インター別の内訳を見ると、全てのインターの入口・出口において前年同月比では増加しているが、前月比では大幅な減少となった。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	352,650	0.54	0.78	151,365	4.08	1.51
平 残	348,315	1.11	0.17	148,085	4.07	0.56

預金は、末残が前年同月比で1,904百万円、0.54%の増加、前月比でも2,747百万円、0.78%の増加となり、平残も前年同月比で3,850百万円、1.11%の増加、前月比でも608百万円、0.17%と増加している。

一方、貸出金においても、末残が前年同月比で5,944百万円、4.08%の増加、前月比でも2,255百万円、1.51%の増加となっている。また、平残も前年同月比で5,801百万円、4.07%の増加、前月比でも827百万円、0.56%の増加となった。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,506	11.38	22.68
交 換 金 額	5,364	51.02	42.87
不 渡 り 手 形 枚 数	6	0.00	-25.00
不 渡 り 手 形 金 額	1	0.00	-63.61

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月末及び前月末の休日要因から、前年同月比で563枚、11.38%の大幅な増加、前月比でも1,018枚、22.68%と大幅に増加している。また、交換金額においても前年同月比で1,812百万円、51.02%、前月比でも1,610百万円、42.87%の大幅な増加となった。なお、不渡手形は6枚、1百万円が発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産8件（前年同月7件、前月7件）、負債総額40億円（同15億円、同23億円）、1件当たりの負債額5億円（同2億円、同3億円）となった。地区別では下越地区で7件（新潟市4件、村上市1件、胎内市1件、燕市1件）、中越地区で1件（南魚沼市1件）、上越地区では発生していない。業種別は建設業1件、製造業3件、販売業4件となっており、倒産原因については、販売不振5件、不良債権の累積1件、企業系列・下請の再編成1件、経営計画の失敗1件となっている。

当月の企業倒産は8件、負債総額で40億円と前年同月比では件数で1件増加、負債総額でも25億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は1件（緑物産（株）（建設業、新潟市、負債額12億円））発生している。

県内における平成20年の倒産件数は72件（うち大型倒産6件）と、昨年年間合計の59件（うち大型倒産13件）を13件上回り、業種別では製造業が最多で、それに建設業、販売業と続いている。

経済環境は、これまで国内景気の牽引役であった大手製造業の生産活動が減速しているなか、雇用調整も広がりを見せており、今後、関連する中小企業における受注環境の悪化や、個人消費の低迷などの懸念材料が山積しているため、当面、倒産動向については注視していく必要があるものと思われる。